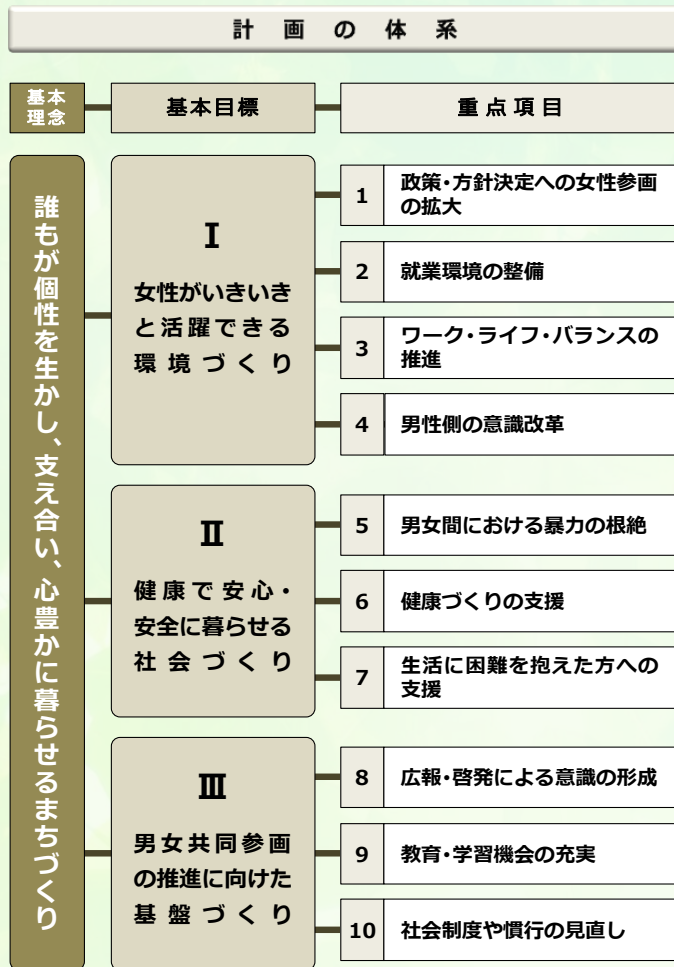




新たな取り組みがスタート！～『第3次宇部市男女共同参画基本計画』を策定～

急速に社会情勢が変化中、平成27年8月に『女性活躍推進法』が制定されたことなどを踏まえ、これまでの取り組みの成果を発展・継承し、市民をはじめ、関係機関や団体、事業者等と協働しながら、総合的かつ計画的に男女共同参画を推進することを目的として、新たな基本計画を策定しました。

今後、本市では、この新計画に基づき、さまざまな施策を進めることとしています。



<計画の基本的な考え方>

『男女共同参画社会基本法』に規定される5つの柱<①男女の人権の尊重、②社会における制度又は慣行についての配慮、③政策等の立案及び決定への共同参画、④家庭生活における活動と他の活動の両立、⑤国際的協調>を目指すべき方向性として位置付け、右の基本理念・基本目標・重点項目のもと、さまざまな施策事業を進めていくものとします。



<計画の期間>

平成29年度
～平成33年度（5年間）

(※詳しくは、市ホームページをご覧ください。)

男女共同参画社会を目指して～中学生人権作文のご紹介～

『第36回全国中学生人権作文コンテスト山口県大会』において、厚南中学校3年生(※)、山本来瞳(くるみ)さんによる男女共同参画に関する作文が、「奨励賞」に選ばれましたので、その一部をご紹介します。(※受賞時は、2年生。)



『男女共同参画社会を目指して』

厚南中学校 三年 山本来瞳

みなさんは、「男性は仕事、女性は家庭」という価値観に縛られることはありませんか。「男らしくありたい、女らしくありたい」と願うことは、各個人の自由ですが、職場、学校、地域、家庭の中のある場面では、性別にかかわらず個性と能力を十分に発揮して、喜びや責任を分かち合うことができる「男女共同参画社会」は、とても魅力的で、理想的な社会です。

これまで、日本の典型的な家庭の姿といえば、父親が一家の稼ぎの中心であり、残る家族の構成員が家庭や育児、あるいは介護に専念する、というものでした。このような様子を知ったのは、私の祖父が言うには、祖父が料理をしたのは一度きり、出産で入院をしたときだけだったそうです。男性が家事をするとは、恥とも考えていました。

しかし、祖父を悪く思うことはできません。やはり、まだまだ男女平等の認識の薄かった時代の負の遺産だと思います。祖母の家事全般をする大変さや、お風呂を洗うことも、お風呂掃除も、女の子に生まれたことを後悔していたかもしれません。

今後、さらに男女共同参画を推進するには、私たちこれから社会に出て行く若者には、どんな行動が求められているのでしょうか。その一つとして、「男女が一緒にボランティア活動等に参加すること」はどうでしょうか。熊本地震の報道を見ていて、救助と救援のそれぞれに、男性と女性のボランティア活動員がいました。各自が特徴を生かし、被災された老若男女が、少しでもストレスを感じないように、素早く作業したり、プライバシーを守る取り組みをしたりする姿が印象的でした。

女性も社会参加することで、子どもは少なくなってしまうかもしれません。一方で、男女の分け隔てない活動をしていくことで、地域が家庭を助ける場面も多く、なっていくと、思っています。こうして、みんなが自分のできることを最大限に発揮して、精一杯生きることが、男女共同参画社会なのだと思ふようになりました。

みんながいきいきと活躍し、多くの人がつながる日本を実現するための小さな一助に、私もなりたいと思います。

パパって、やっぱりすごい！

～「フルーツポンチづくり&体操」で大奮闘～

家事や育児に積極的な男性の育成をめざす『イクメンパパ活躍講座』が開催されました。慣れない手つきでお菓子づくりに挑戦した後は、親子体操と一緒に体を動かし、その力強いパパのリードに、子どもたちは大はしゃぎ。改めて、パパのすごさを実感できた一日でした。

(H28.8.28 総合福祉会館 / 参加…延べ54人)



“イクメンの星☆”が誕生！

～『ごきげん未来フェスタ』でクイズに挑戦～

『ごきげん未来フェスタ』のメイン会場では、イクメンパパ活躍講座の第2弾として、イクメンに関する「〇×クイズ」が行われました。数々の難問を見事勝ち抜いた“イクメンの星☆”たちに、場内からも大きな期待と声援が寄せられていました。

(H28.11.26 湖水ホール / 参加…延べ75人)



学んで磨きました、女性力。

～『女性活躍推進セミナー』でスキルアップ！～

多様な分野における“女性力”のスキルアップとエンパワーメント(社会的な力)を向上させるための啓発セミナーを開催しました。恒例となったパソコン講座と健康講座に加え、今回は新たに、CAP周南の鷲見 雅子(すみ まさこ)さんを講師に迎え、さまざまな場面で役立つコミュニケーション術“アサーティブ”について学びました。



(H28.10.28～11.8〈全4回〉フォーユー / 参加…延べ56人)

女性が働きやすくなりました♪

～『女性職場環境改善助成金』で更衣室を整備～

株式会社ティーユーエレクトロニクスでは、本市の事業者向け支援制度(女性職場環境改善助成金…助成率80%、上限額10万円)を活用して、女子更衣室の環境整備が行われました。

<事業者からの報告コメント>

更衣室のあるプレハブ棟を整備するにあたり、男女の更衣室を左右に配置し、出入口を分けることで、互いのストレス軽減を図りました。併せて、これまで古く使い勝手の悪かった女子更衣室のロッカーを買い替え、職場環境の改善を行いました。

